

公益社団法人日本小児保健協会
平成 27 年度定時社員総会議事録

日時：平成 27 年 6 月 19 日（金）13：30～14：30

会場：長崎ブリックホール 1F・2F 大ホール（長崎県）

議事：《報告事項》

1. 平成 27 年度事業計画
2. 平成 27 年度予算書
3. その他
 - (1) 都道府県小児保健協会への補助金等支出について
 - (2) 平成 27 年度協会活動助成の決定について
 - (3) 追加議事
 - (1) 査読審査方法の変更について

《審議事項》

1. 平成 26 年度事業報告案
 - I. 法人の概況
 - II. 事業の概況
 - II-1. 事業の実施状況
 - II-2. 役員等に関する事項
 - III. その他
2. 平成 26 年度決算書案
3. 監査報告
4. 平成 27 年度名誉会員の決定について
5. 「常勤役員の報酬並びに費用に関する規程」の一部修正について
6. 第 65 回（平成 30 年度）日本小児保健協会学術集会 会頭の決定について
7. その他

《総会の成立》

平成 27 年 6 月 19 日（金）、長崎ブリックホールにおいて、社員総数 216 名（理事 25 名、代議員 191 名）のうち、出席者数 65 名に委任状 123 通を加え社員の過半数以上に達したことにより総会は成立した。議長は、前年度定時社員総会に引き続き、渡辺博氏が議事を進行した（議長の任期は 2 年間）。議事録署名人 2 名については、立候補、推薦はなく、議長から鮎沢衛（東京都）、並木由美江（埼玉県）両代議員が指名され、承認が得られた。

《挨拶》

開会に先立ち、岡田知雄会長より挨拶がなされた。

報告事項

1. 平成27年度事業計画

*会議資料は事前の資料送付を行い、時間の関係上、報告事項1および報告事項2についての説明は省略する旨全社員に事前連絡がなされており、議長が質問および発言を募ったが、挙手、発言はなかった。

2. 平成27年度予算書

*報告事項1に同じ。

3. その他

(1) 都道府県小児保健協会への補助金等支出について

*佐藤清二財務担当理事より経緯および修正点について説明がなされた。

*質疑において、兵庫県 高田哲先生より、平成27年度はすでに始まっていることから、運用開始時期や申請対象等についての質問があった。佐藤財務担当理事より、本總會終了後、都道府県地方協会長宛に文書発出した後に運用を開始することが回答され、了解を得た。

◆経緯

平成24年の公益法人認可に際し、「地方支部」は「地方協会」として名称変更し、日本小児保健協会からは独立した組織として組織編成を変更した。各地方協会による小児保健活動の重要性に変わりはないが、本会の運営上、妥当性・必要性があつて組織を分けたものであり、公益法人としてのあり方、また、各地方協会活動との関係性を望ましいものとして位置づける必要性があるため、平成27年度より以下3点について改めることとして理事会での承認を得た。

◆修正点

①「地区活動補助金」の廃止

各地方協会宛に支出していた「地区活動補助金」は廃止する。

②地方協会研修会等活動助成の運営方針の改定について

「地方協会研修会等活動助成」の名称で各地方協会の研修会や講演会等に対して上限を5万円として支給してきたものについて、平成27年度以降は以下のとおりとする。

a) 名称を「都道府県研修会小児保健振興事業」とする。

b) 都道府県小児保健協会からの申請書類を本協会にて審査の上、公益事業としてふさわしいと認められた研修会事業に対して支給する。

c)申請は、年間に1件とする。前期と後期に分けて募集をする。

d)支給額は、上限金額を10万円として申請内容を審査する。

e)事業実施後は、報告書の提出を必須とする。

f)平成27年度に関しては既に年度が開始しているので、本総会による報告後、各都道府県小児保健協会会長宛に文書によるご説明の後、本事業を開始する。平成28年度からは、応募期間を前期・後期に分けて募集をする。

③地方協会活動報告書の廃止

例年『小児保健研究』7月号に掲載してきた各地方協会からの活動報告書の提出は、廃止する。地方協会の活動に関する本協会との情報共有は、修正点②「都道府県研修会小児保健振興事業」における事業実施報告書によるもののみとなる。

(2)平成27年度協会活動助成の決定について

前田美穂協会活動担当理事より説明がなされた。研究助成および実践活動助成については、選考委員会において受賞候補者を選出し、メールによる理事会決議省略の方法により平成27年6月3日付全理事の承認を得て、以下のとおり決定した。総会終了後に表彰式を開催。

[研究助成]

平成25年度

論文筆頭者 吉田 弘道 (ヨシタ ヒロミチ) 氏 (専修大学)

論文名 育児不安尺度の作成に関する研究 その1—4・5か月児、および、10・11か月児の母親用モデル—

掲載誌 小児保健研究 72巻5号 p680-689 平成25年

論文筆頭者 田村 典久 (タムラ ノリヒサ) 氏 (広島国際大学大学院)

論文名 睡眠教育パッケージを用いた睡眠授業が小学生の生活の夜型化、睡眠不足、イライラ感の改善に与える効果

掲載誌 小児保健研究 73巻1号 p28-37 平成26年

平成26年度

論文筆頭者 村田 絵美 (ムラタ エミ) 氏 (大阪大学大学院連合)

論文名 日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての
大規模調査

掲載誌 小児保健研究 73巻6号 p798-810 平成26年

論文筆頭者 鈴井 江三子 (スズイ エミコ) 氏 (兵庫医療大学)

論文名 学童保育指導員が認識した入所時の児童虐待被害児童と親の行動の特徴

掲載誌 小児保健研究 74巻2号 p254-260 平成26年

〔実践活動助成〕

都道府県：奈良県

代表者名：西久保 敏也（ニシホ トシヤ）氏（奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター）

南部 光彦（ナンブ ミツヒコ）氏（天理よろづ相談所病院）

活動名：ダウン症候群の児を対象とした赤ちゃん体操教室

（3）追加議事

（1）査読審査方法の変更について

編集委員会 徳村光昭委員長より報告がなされた。平成26年11月以降、編集委員長が各論文の担当者を委員の中から任命することとした。担当編集委員が査読者の選出からやりとりまでを行い、最終的に得られた査読審査結果に基づき委員長もしくは副委員長が論文の採用・不採用を決定する。

*議長が、報告事項に関して質問および発言を募ったが、挙手、発言はなかった。

審議事項

1. 平成26年度事業報告案

*秋山千枝子庶務担当理事より説明がなされた。例年どおり継続されている事業に加え、組織体制の見直しに取り組んだ。出席者の過半数の賛成があり、承認された。

〔平成26年度事業報告案〕

I. 法人の概況

II. 事業の概況

II-1. 事業の実施状況

II-2. 役員等に関する事項

III. その他

2. 平成26年度決算書案

*佐藤清二財務担当理事より説明がなされた。出席者の過半数の賛成があり、承認された。

3. 監査報告

*堤ちはる監事より監査報告がなされた。出席者の過半数の賛成があり承認された。

4. 平成27年度名誉会員の決定について

*秋山千枝子庶務担当理事より説明がなされた。都道府県小児保健協会長から推薦のあった2名について、メールによる理事会決議省略の方法により平成27年6月3日付全理事の承認を得

て以下の2名が定時社員総会に推挙された。称号の授与について、出席者の過半数の賛成があり承認された。

栃木県 吉野 良壽 (ヨシノ カトシ) 氏

岐阜県 近藤 富雄 (コトウ トモ) 氏

5. 「常勤役員の報酬並びに費用に関する規程」の一部修正について

*秋山千枝子庶務担当理事より説明がなされた。内閣府より、第3条の監事に対する報酬に係る内容について指摘があった。「監事は、社員総会において、個人的な能力、資質等が信頼できるとの判断の下に選任されるものであり、その適正な報酬を確保する必要があることから、定款の定めまたは社員総会の決議において、各監事の報酬等の具体的な金額を決定することが望ましい」との観点から、その決定機関を理事会としている点が望ましくない旨であり、以下のとおり規程の変更を要する。規程の変更について、出席者の過半数の賛成があり承認された。

(変更前)

第3条抜粋「なお、非常勤であっても監事に決算監事監査1回につき10万円の範囲内で理事会の決定により報酬を支給することができる」

↓

(変更後)

第3条抜粋「なお、非常勤であっても監事に決算監事監査1回につき10万円の範囲内で社員総会の決定により報酬を支給することができる」

6. 第65回(平成30年度)日本小児保健協会学術集会 会頭の決定について

*岡田知雄会長より説明がなされた。6月18日理事会において、鳥取大学医学部周産期・小児医学 神崎 晋(カンザキ スム)先生を推薦することについて承認を得た。出席者の過半数の賛成があり承認された。

7. その他

なし

《その他》

1. 第62回(平成27年度)日本小児保健協会学術集会 会頭挨拶

2. 第63回(平成28年度)日本小児保健協会学術集会 会頭挨拶

(13:45 閉会)

*定時社員総会終了後、平成27年度名誉会員称号授与式および平成27年度協会活動助成の表彰式を行った。

平成 27 年 6 月 19 日

公益社団法人 日本小児保健協会

議 長 渡 辺 博 ⑩

議事録署名人 鮎 沢 衛 ⑩

議事録署名人 並 木 由美江 ⑩